



奈良女子大学

記念館一般公開

旧奈良女子高等師範学校本館
《重要文化財》



1月に奈良市美術館で
大好評だった
学生主体の特別展示を
記念館でも開催！

特別展示

奈良女子大学コレクション

2023

4/29(土・祝)～5/5(金・祝) 入場無料
午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

交通 近鉄奈良駅①出口から徒歩5分
JR奈良駅から市内循環バス近鉄奈良駅前下車徒歩約5分
※車でのご来場はご遠慮願います。

連絡先 奈良女子大学 総務課
〒630-8506 奈良県奈良市北魚屋東町
TEL.0742-20-3220 FAX.0742-20-3205





奈良女子大学コレクション ～奈良女子高等師範学校の教材たち～

奈良女子大学には、前身である奈良女子高等師範学校で使用されていた教材がたくさん保管されています。精巧な正倉院宝物模造品や今にも動き出しそうな動物標本、レトロブームな今だからこそ見るべき、大正・昭和初期のおもちゃたち。学生たちで選りすぐった奈良女子大学コレクションをぜひお楽しみください。



土偶模型

子日目利箒台



ツシヤママネコ



桃太郎



奈良女子大学 記念館について

奈良女子大学の前身である奈良女子高等師範学校は1908年（明治41年）3月に設置され、翌年5月から授業を開始しました。校舎の工事は1908年（明治41年）2月からはじまり、翌年10月には主要な建物が完成しました。現在、奈良女子大学記念館としている建物は、奈良女子高等師範学校本館としてこのとき建設されたものです。設計は京都帝国大学建築部長で奈良出張所心得の山本治兵衛が行いました。

木造2階建てで、外観の大きな特徴は、北欧によく見られる木部を外に表す壁構造のハーフティンバー形式をとっており、屋根には頂塔およびドーマー窓が設置されていることにあります。1階は中央に廊下が配され、これを挟む形で7室が設置されています。建物両端にある階段で2階に上ると、フロア全体が大きな講堂となっています。講堂内には柱は用いられず、中央部に二重に織り上げた天井には明り取りの窓が配され、広々とした空間が広がります。

1994年（平成6年）2月から6月にかけて改修工事が行われ、同年12月27日に正門及び守衛室と併せて重要文化財に指定されました。その後も空間設備工事・外壁改修など、その時々適切な修理を行い、2014年（平成26年）12月25日から2015年（平成27年）12月にかけては、これまでにない長い時間をかけて大規模な耐震補強工事を実施しました。この工事に際しては、文化庁・奈良県の指導を受けて、歴史的建造物の文化的価値を損なうことのないよう、細心の注意を払い設計、施工がなされました。

旧本館は建設以来、改変された箇所はほとんどありません。現在も2階講堂内部には奈良女子高等師範学校開校当時から使用されていた長椅子がそのままに並び、開校時に購入した最も古い国産ピアノの一つであるとされる「百年ピアノ」が置かれ、往時を偲ぶことができます。